

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱ



中標津町ウエディングプラザ寿宴にて、11月23日(金)「北海道をもっともーっと食べようランチパーティー」が開催されました。多くの来場者で賑わった本イベントは12年目の開催となり、中春別農協青年部のブースでは「なかしゅんミルクロール」に加え、新商品の販売を試みました。



12月号

2018 Vol. 491

農林水産省との平成31年度酪農畜産関連対策に関する意見交換並びに国会議員への要請

中春別酪農対策協議会(伊藤一吉会長)では11月14日(水)と15日(木)の両日、農政運動として中央要請を実施いたしました。

1日目 農林水産省生産局との 意見交換

初日は農林水産省生産局を中心に各関係部署担当官出席のもと意見交換を行いました。

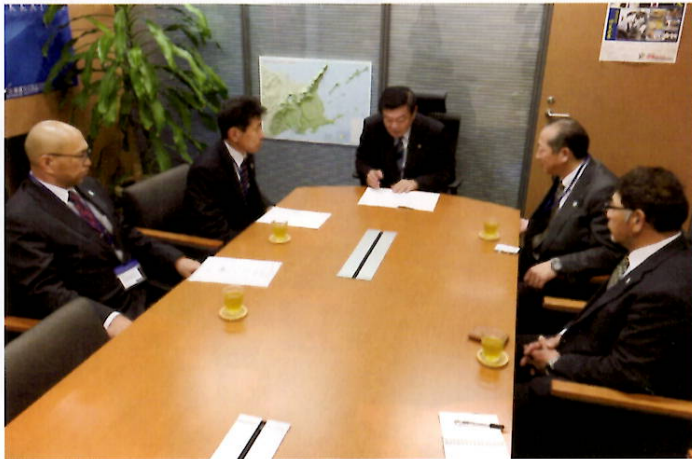
伊藤会長より当地区の近況や概要について説明をおこない、農林水産省生産局の金澤乳製品調整官より災害に対するお見舞いや、乳生産状況や流通状況など近況報告がありました。

意見交換では、北海道胆振東部地震発生の9月6日未明から道内全域で停電が続き、復旧の見通しが立たない状況の中での生産に対する不安感や生産現場の状況を伝え、生産者が安定経営・生産拡大が図れるようお願いいたしました。また、新規就農に係る各種事業や国営かんがい排水事業、中山間地域等直接支払制度の継続について要請をいたしました。

2日目 衆・参両議員への要請

2日目は議員会館へ出向き、道内選出の衆・参両議員への要請活動を行いました。

災害対策の充実や担い手対策など地域の課題点について現場の声を伝えました。



を伝えました。国会議員からは、生産意欲が湧くよう各種対策に力を入れたいと述べられました。

(要請者)

中春別酪農対策協議会

会長 伊藤一吉

副会長 高橋真悟

副会長 浮川 優

中春別農業協同組合

副組合長理事 西川寛稔

事務局 水谷 計5人

仲間たちと親睦を深め、 宮農活動の知識向上となった視察

青年部道内視察研修会

青年部では10月29日(月)～31日(水)にかけて、未来のアグリ(株)千歳工場(千歳市)と(有)友夢牧場(新得町)にて視察研修会を実施しました。

今回の視察は部員7人、事務局1人参加のもと部員間の知識向上と親睦を図ることを目的に開催しました。

自動監視できる獣害農、 施設園芸ハウスを視察

1日目は、千歳市にある未来のアグリ(株)の千歳工場へ視察に行き、農業用資材(牧柵、電牧)や、シカやイノシシなどの獣害対策の各種罠、施設園芸ハウスを視察させていただきました。



シカを捕獲する「パネル式囲い罠」

中でも、シカなどを対象とした「パネル式



水耕メロンに興味を向ける部員

ル式囲い罠」は、高さが4.2mと大きいサイズではありますが、簡易的な造りとなっており、大人2人で20～30分で設置が可能で、パネルを増やして規模の拡大もできます。また、ICT技術を活用した監視カメラにより、遠隔操作や自動監



1400頭を飼養をする有限会社友夢牧場

視が可能であり、捕獲労力の削減が図れる構造となっております。

(有)友夢牧場の 各取り組みを視察

2日目は、新得町の(有)友夢牧場へ視察に行きました。

友夢牧場は、平成12年に法人化しており、現在では飼養頭数が約1400頭(預託牛を含む)、出荷乳量は全国でも上位に入るほどの大規模な牧場です。パ



元の小学校や、老人ホームへ寄付をしたとのこと。今後の取獲では、販売用のメロンとしても取り組んでいくと話されました。

今回の視察では、懇親会や移動の間で、部

イオガスプラントが稼働しており、耕種農家への消化液の活用を施しています。他にも、酪農教育ファームとしての取り組みも行っており、教育の場としての酪農体験や乳製品加工なども実施し、消費者との交流を図り、地域と連携した農業の展開をしております。

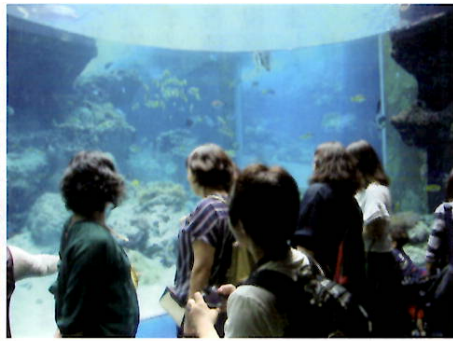
最近では、バイオガス発電による余剰熱を活用した、「ビニールハウスでの「水耕メロン栽培」も手掛けており、収穫したメロンは地

員間の交流も図ることができました。懇親会は、札幌にある「牛の杜(ビーフのもり)」で開催し、チクルングループが取り扱う、こだわりの牛肉を堪能しました。おいしい焼肉に舌づつみをうちながら親睦を図り、とても賑やかな懇親会となりました。3日間の視察を通じて得たことを活かして、これからの営農や青年部活動に努めていきたいと思えます。

沖縄の歴史に触れた
貴重な研修となりました

女性部宿泊研修

11月12日(月)～15日(木)の3泊4日の日程で宿泊研修を行いました。



沖縄美ら海水族館では高さ8・2m、幅22・5m、厚さ60cmもある巨大水槽の中でジンベイザメ、マグロやカツオなど沢山の種類の魚が泳ぎまわり大迫力でした。常に水槽の様子が変わりどれだけ見ても飽きない光景に参加者の方たちも楽しめたようでした。

沖縄ならではの暑さ対策
と衛生管理



（株）なんじよう牧場では本格的なトンネル換気システムなどの見学をしました。換気能力を高くし、夏の受胎率低下と乳量の低下を抑えているそうです。「これだけ気温が高いのにハエが全く見当たらない」「高床式のカウハッチは初めて見まし



た。清潔に保てそうで良いですね」などの声がありました。また、本来、廃棄される豆腐カスを餌に混ぜることにより、たんばく質の摂取量を多くしつつ、餌のコストを下げているとのこと



した。

観光と歴史を満喫

おきなわワールドでは天然記念物の玉泉洞散策やエイサーを見学し、首里城の正殿は、あいにく漆塗りの補修工事中で正面からは見ることができませんでしたが、建物の中をぐるりと見て回り沖縄の歴史に触れることができました。

今回の宿泊研修では気候が全く違う中での酪農の見学や、沖縄の歴史に触れながらの研修となり、良い思い出となりました。



酪農視察
研修

更なる乳牛改良技術の
研鑽と向上を目指し

中春別乳牛改良同志会では11月5日(月)～7日(水)の日程で、乳牛改良技術などの研鑽と向上を目指すため豊富町酪農家2件を視察しました。

視察1件目は「エッセンス」の冠名で知られ、共進会などで著名な「アポロ」のフアミリーを有する栗城一貴牧場を視察しました。2004年には「エッセンス」レクス スター アポロ」が北海道ホルスタインナショナルショウにてグラント・チャンピオンを獲得し、同牛の体格審査得点はE X 95点を持っており、道内でも有数の高体型牛群を繋留している牧場です。



視察2件目は「レスポアール」の冠名で知られ、共進会などで著名な「ハーゲン」のフアミリーを有する佐藤道寛牧場を視察しました。当牧場の生産牛である「レスポアール レーガ

ただき、まさに圧巻の高体型牛群となっていました。



ただき、まさに圧巻の高体型牛群となっていました。視察2件目は「レスポアール」の冠名で知られ、共進会などで著名な「ハーゲン」のフアミリーを有する佐藤道寛牧場を視察しました。当牧場の生産牛である「レスポアール レーガ

ンスター ハーゲン」は2015年北海道ホルスタインナショナルショウにて14歳でグラント・チャンピオンを獲得し、体格審査においては国内最高得点のE X 96点を獲得しています。

牧場内を経営主である道寛氏に案内していただき、現在130頭(経産牛64頭)を飼養、チモシーとルーサンが混雑されたグラスサイレージをメインに給与されています。牛群内は高体型なのはもちろんのこと、ボディコンディションのばらつきが少なく、毛づや



の良い牛が多くいるのが印象的でした。今回の視察研修では中春別と同様の草地型酪農を展開している2件を視察し、参加者からも多くの質問が出て、経営主のお2人には非常に丁寧に教えていただき、有意義な視察研修となりました。

最後に今回視察させていだき、ありがとうございました。佐藤道寛様にはご多忙のところ、対応していただきまして深くお礼申し上げます。

ホルスタイン写真コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)では、毎回好評であります「ホルスタイン写真コンテスト(未経産)」を行いますので、投票要項に注意してお早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈

致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。

3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、1月11日となっておりますので期日までに応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は2019年2月号で発表致します。



カーフウォーマー使用時の の注意点

ここ数年で、「カーフウォーマー」と呼ばれる新生子牛の乾燥を促す道具が急速に普及しています。

カーフウォーマーを使用している農場では、表1のような感想が聞かれています。新生子牛の事故を減らすために非常に有効な道具の一つとなっており、これからの季節は、子牛の体温低下や凍死を防ぐ目的で、さらに使用頻度が増える事が考えられます。以下の使用上の注意点を参考にしてください。

表1 使用農場の声

| |
|-----------------------|
| 子牛が早く乾き、元気が良い |
| 初乳の飲みが良くなった |
| 冷えた子牛を温めるのに便利 |
| 入れすぎて乾燥させすぎたこともある |
| 網がコーティングされていないと、蹄が傷つく |



写真1 毎回高圧洗浄機で洗浄している農場のカーフウォーマー

1. カーフウォーマー・子牛は清潔に！

汚れたままの使用を見かけることがあります。カーフウォーマーが病原体の感染源にならないように、清潔な状態を保ちましょう（写真1）。内部の壁や網にふんが付いた状態での使用は厳禁です。1日の分娩頭数が2頭以上となり、洗浄する余裕がなければ、2台目の購入も必要です。毎回、高圧洗浄機で洗浄する農場もありますが、冬期間、多くの農場では消毒液を付け

たブラシでこするなどの工夫も行われています。また、子牛自身がふんで汚れていれば、綺麗に拭く、お湯で洗うなどの方法で清潔な状態にしてから入れましょう。

2. 「初乳はできるだけ早く」は変わらない

子牛の体の早期乾燥が実現されても、抗体をできるだけ早く（6時間以内に）子牛の口に入れてやる重要性は変わりません（図1）。特に和牛の場合は、初乳給与までの時間が重要とされています。夜中の分娩の場合は、カーフウォー

マーに入れる前に、とりあえず初乳サプリメントを飲ませるなど、他の資材も上手に利用しましょう。

3. 入れすぎによる脱水注意！

カーフウォーマーに入れる時間は3〜6時間を目安とし、換気口を開けて換気も行いましょう。ホームセンター等でも入手可能なコンセントに設置するタイプを利用すると便利です。また、入れたままにせず、脱水症状を起こしていないかを目視で確認しましょう。

4. カーフウォーマーに入れる前に

可能であれば母牛にリッキング（なめる行為）をさせ、ヨード剤などでへそと周辺を消毒しましょう。

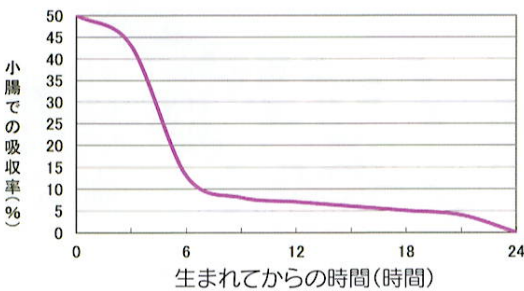


図1 抗体吸収率の変化 (北海道農業試験場, 1978)

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月13日、JAグループ北海道の役員はじめ約2400人が参加し、「第29回JA北海道大会」を開催しました。

大会では、将来ビジョン「北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。協同の力と総合力を発揮し、一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みます。決議事項の実践内容や農業・JA・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。



JA北海道信連

9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさっぽろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。

JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになったみたい」とお札の束を広げる子も……。未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思えます。



ホクレン

北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年はJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび」とJA北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。



JA共済連北海道

10月27日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示などが予定されております。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



根室農業賞中春別地区

受賞者懇話会発足と 30年の歴史を閉じるに当って

今は亡き児玉由一氏の功績を讃え、本賞は各位がご承知のとおり根室管内の農業発展に尽くされた氏の遺徳を後世に伝えると共に、根室農業の振興と発展を期すべく、昭和38年度に創設、制定されたことはご承知のとおりです。

参考までに根室農業賞の推移を記述してみますと、昭和38年に児玉賞が制定され、昭和42年に根室農業賞に改称され、更に平成20年に根室農業大賞に改められ、受賞対象者も職員が除かれ農業者に絞られ今日に至っております。

当該地区の受賞年度及び受賞者は表1の通りです。今は亡き、久慈正人氏が先達となり、(故)宮部喜智弥氏並びに相澤幸一氏が

お出でになり、標記懇話会の設立について熱心にお話をされました。勿論、異論はありませんでしたが、年のため、次の各項を確認した上で関係者に諮る事と致しました。

一、農協を始めとして関係する個人及び団体に対し、金品等の支援を求めないこと。

二、事務局的な諸事について全て会員同志が行う事として、農協などに迷惑な行為はしないこと。

三、本懇話会は会員相互の親睦と根室酪農の将来など親しく一堂に会して語り合うことが目的であるので、個人並びに政党に

対する応援及び支援などはしない。
四、日本農業賞を受賞した

芳賀信一については全くの別格であり、お誘いすることは大変失礼になること。

以上の各項について世話人が各位と相談協議を行い、同意を得た上で平成元年2月11日、尾岱沼市街トドワラ荘で設立し、懇話会の発足となった次第です。

その後、懇話会の動きとしては、会員相互の親睦は勿論ですが、何といたってもその後の皆様の酪農経営の充実発展の推移と、総括的には農協経営の現状を識りながら、変転する酪農を取り巻く国内の動きと、国際的な情勢の中での農民組織の動きなどに話題が挙がったこともありました。

経過の中では特に農業情勢については、当該年度の



農協に会長を招聘し、ごあいさつの中で現状をお知らせいただいたことは誠に欣喜するところでありました。

発足後、数年次は、町教育委員会嘱託員でもあり、北海道知事が認めた老人福祉相談員でもあった鈴木義光氏の講演を始めとして農

協の現状を勉強させていただきながら「会員の頭の体操」と称して、いろいろ相互に知恵を絞りながら、最後には「ビンゴゲーム」を楽しむなどを重ねてまいりました。

しかしながら、申し上げるまでもなく現役をおえた高齢者の集まりだけに健康を損ねる方が増え、年一度の懇話会の出席数も減り勝ちとなってきたことから、数年前から継続についてご意見が出はじめたことから、諸般の情勢や内部の事情などを慎重に検討を重ね、去る10月5日、第30回の懇話会を経て30年の歴史を閉じた次第であります。設立発足以来、陰に陽に何かと懇話会の組織運営にご指導ご鞭撻いただきまして多くの方々、加えて特に後半時において何かとご支援、ご協力を賜りました農協役員のご厚情は誠にありがたく感謝を申し上げます。

申し遅れましたが、老若男女ご家族が一丸となつて、酪農経営の益々の充実

と発展にご尽力をされておられる皆様をはじめ、地域の振興と隆昌を期すべく日夜懸命に専心されております各位の、益々のご健勝とご多幸を衷心より限りなくご祈念申し上げますと共に本懇話会設立をはじめ、何かと指導賜りました今は亡き先達の方々の安らかなるご冥福をお祈り申し上げます、併せて懇話会各位のご家族ともどもに、ご健勝とご多幸をご祈念申し上げますながら、事務局として数々の不行届きについて、衷心より幾重にもお詫びを申し上げます、懇話会を閉じるに際しご挨拶とさせていただきますが、経過の省略、乱文など数々の失礼をお許しください。

参考 別表その2 年度別代表者氏名並びに事務局担当者名

刀裨谷 斉
恒川 勝則

表2

| 年 度 | | 世話人代表 | 事務局 |
|-------|------|-------|-------|
| 平成元年 | 第1回 | 久慈 正人 | 刀裨谷 斉 |
| 平成2年 | 第2回 | 〃 | 〃 |
| 平成3年 | 第3回 | 〃 | 〃 |
| 平成4年 | 第4回 | 〃 | 〃 |
| 平成5年 | 第5回 | 〃 | 〃 |
| 平成6年 | 第6回 | 〃 | 〃 |
| 平成7年 | 第7回 | 〃 | 〃 |
| 平成8年 | 第8回 | 〃 | 〃 |
| 平成9年 | 第9回 | 寺澤 昭一 | 〃 |
| 平成10年 | 第10回 | 〃 | 〃 |
| 平成11年 | 第11回 | 尾形 春雄 | 〃 |
| 平成12年 | 第12回 | 〃 | 〃 |
| 平成13年 | 第13回 | 青野 春樹 | 〃 |
| 平成14年 | 第14回 | 〃 | 〃 |
| 平成15年 | 第15回 | 望月富智男 | 〃 |
| 平成16年 | 第16回 | 〃 | 恒川 勝則 |
| 平成17年 | 第17回 | 高橋 昌晴 | 〃 |
| 平成18年 | 第18回 | 〃 | 〃 |
| 平成19年 | 第19回 | 山崎 誠二 | 〃 |
| 平成20年 | 第20回 | 〃 | 〃 |
| 平成21年 | 第21回 | 渡邊 栄顕 | 〃 |
| 平成22年 | 第22回 | 〃 | 〃 |
| 平成23年 | 第23回 | 佐々木茂成 | 〃 |
| 平成24年 | 第24回 | 〃 | 〃 |
| 平成25年 | 第25回 | 奥山 秀助 | 〃 |
| 平成26年 | 第26回 | 〃 | 〃 |
| 平成27年 | 第27回 | 石森 典夫 | 〃 |
| 平成28年 | 第28回 | 〃 | 〃 |
| 平成29年 | 第29回 | 〃 | 〃 |
| 平成30年 | 第30回 | 〃 | 〃 |

表1

| 賞 名 | | 年 度 | 受賞者名 |
|---------------------------|------|-------|---------|
| 児玉賞 | 第 回 | 昭和45年 | 伊 藤 登 |
| 〃 | 第 回 | 昭和48年 | 寺 澤 昭 一 |
| 農業賞 | 第2回 | 昭和53年 | 相 澤 孝 一 |
| 〃 | 第3回 | 昭和54年 | 久 慈 正 人 |
| 〃 | 第4回 | 昭和55年 | 登 精 一 |
| 〃 | 第5回 | 昭和56年 | 伊 藤 和 夫 |
| 〃 | 第7回 | 昭和58年 | 平 林 邦 彦 |
| 〃 | 第8回 | 昭和59年 | 宮 部 喜智弥 |
| 〃 | 第10回 | 昭和61年 | 久 保 二 大 |
| 〃 | 第11回 | 昭和62年 | 刀裨谷 斉 |
| 〃 | 第12回 | 昭和63年 | 金 子 正 雄 |
| 平成元年 根室農業賞(児玉賞)中春別地区懇話会設立 | | | |
| 〃 | 第14回 | 平成2年 | 渡 邊 孝 樹 |
| 〃 | 第17回 | 平成5年 | 青 野 春 樹 |
| 〃 | 第18回 | 平成6年 | 前 田 正 敏 |
| 〃 | 第19回 | 平成7年 | 尾 形 春 雄 |
| 〃 | 第20回 | 平成8年 | 木 原 隆 |
| 〃 | 第21回 | 平成9年 | 佐々木 茂 成 |
| 〃 | 第22回 | 平成10年 | 望 月 富智男 |
| 〃 | 第23回 | 平成11年 | 渡 邊 栄 顕 |
| 〃 | 第24回 | 平成12年 | 小 野 寅 夫 |
| 〃 | 第24回 | 平成12年 | 恒 川 勝 則 |
| 〃 | 第25回 | 平成13年 | 高 橋 昌 晴 |
| 〃 | 第26回 | 平成14年 | 山 崎 誠 二 |
| 〃 | 第27回 | 平成15年 | 村 山 三三夫 |
| 〃 | 第28回 | 平成16年 | 奥 山 秀 助 |
| 〃 | 第29回 | 平成17年 | 高 田 珠 夫 |
| 〃 | 第30回 | 平成18年 | 石 森 典 夫 |
| 〃 | 第31回 | 平成19年 | 渡 辺 昭 |
| 根室農業大賞 | 第3回 | 平成22年 | 竹 田 國 男 |

もつとも一つと 北海道を 食べよう ランチパーティー

北海道米や牛乳・乳製品をはじめ、道産・管内産の食材を使用した立食パーティーイベント「北海道をもつとも一つと食べようランチパーティー」が、中標津町ウエディングプラザ寿宴にて11月23日(金)に開催されました。



牛乳や米などの道産食材にこだわった料理の試食、レシピ紹介など地産地消と北海道の魅力を知ってもらうことを目的として行ってきたイベントも、今年で開催12年目を迎えました。

開場の時間となり、たくさんの方々が会場に入場する中、入口では、各地区の着ぐるみたちがお出迎えをすると、子どもたちが喜び記念撮影をしたりと、大人気でした。

**北海道産の食材を使った
おいしい料理と楽しい時間を堪能**

根室地区酪農対策協議会の今井和善会長からの乾杯の挨拶によりパーティーが始まりました。会場内では5種類の道産農畜産物を使った料理や、JA根室地区女性協が作るスイーツの試食、レシピの配布などが行われました。また、中春別農協青年部のブースでは、なかしゅんミルクロール(レギュラー・ハーフサイズ)を販売。昨年



より本数を増やし勢いがある中、今回は新たに「スイートポテト」の販売も実施しました。販売量の増量や新たな商品の販売により、不安な気持ちもありましたが、販売を開始し、あっという間に完売をするほどの盛況ぶりでした。

ステージでは、各ブースの紹介や、札幌よしもと芸人「神様のペット」によるお笑いステージショーが行われ会場は大盛況でした。

最後には道産食材など豪華商品が当るお楽しみ抽選会が行われ、北海道の味覚を堪能してもらえようような商品ばかりでした。このイベントをきっかけに、より多くの方に北海道の魅力を知っていただけたらと思います。

●【経営科】農ク全国大会に出場しました

10月24日(水)、25日(木)に鹿児島県で日本学校農業クラブ全国大会が開催され、家畜審査競技(肉牛の部)に1年生の小林洗翔君が出場しました。残念ながら入賞はなりませんでしたでしたが、これまでの学習で努力してきた成果は出し切れたとのことでした。大会式典では、全国大会で最優秀賞を受賞した発表を参観し、各校の優れた実践を学習できたのは大変良い機会となりました。また道内外の参加生徒たちとのネットワークも多く作ることができた大会となりました。小林君は「鹿児島県の牛は甲乙つけづらく難しかった。入賞できず悔しかったがたくさんのことを学べて良かった。来年度は鑑定競技会で全国大会に出場し入賞したい」と来年度への意気込みを話していました。次年度は東北地方にて南東北大会が開催されます。



大会式典会場にて

●【経営科】海外研修を実施しました

11月4日(日)から12日(月)の9日間、海外視察研修が行われ、3年生の菅野愁斗君、佐々木龍矢君、杉本昌也君、村山祐介君の4人が参加しました。



ショーの様子

本校では別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)と別海町のご支援のもと、4年前よりカナダの酪農視察を実施しております。研修では日本でもブリーダーとして知られているケベック州ジェイコブス牧場、オンタリオ州ではカナダでもトップクラスの飼養管理技術を誇るサミットホルム牧場を視察しました。また、ロイヤルアグリカルチュアル・ウインターフェアの視察では、セール・オブ・スターズやナショナルホルスタインショー(ブラック&ホワイトショー)の見学をとおして、酪農王国のすごさをあらためて実感するとともに、カナダ最大級の農産物展示会の雰囲気や、子供達が農業について学べる環境に感心するとともに、酪農のあり方についてのヒントを多く得た様子でした。参加した生徒は、将来酪農関連産業に就いた時にこの経験を活かしたいと話していました。今回の研修の報告会は、1月下旬に本校にて行う予定です。

●【専攻科】第2回酪農技術現地研修会開催

10月10日(水)~12日(金)までの3日間、酪農技術現地研修会を実施しました。

1日目は足寄町の「ありがとう牧場」と「十勝しんむら牧場」を視察し、「ありがとう牧場」ではブラウンスイスとホルスタインを飼養し放牧酪農を実践しています。また季節繁殖を取り入れた放牧管理についても学びました。「十勝しんむら牧場」では放牧酪農を中心に、土作りの大切さや6次産業化への取り組みについてご説明いただきました。2日目は恵庭市のMSK農業機械株式会社本社にて最新農作業機器の説明を受けました。札幌市の北海道コカ・コーラボトリング株式会社では、脱脂粉乳を使用したコーヒー飲料の製造ラインなどを視察しました。



牧場視察の様子

3日目は長沼町の雪印種苗株式会社北海道研究農場を視察しました。農場では牧草における越冬耐性や、品質評価実験などの研究をされていました。参加した学生からは、「多くの酪農場の経営スタイルを視察することで、共通している部分があり、自分の仕事への自信になった」といった声が聞かれました。自分の住んでいる地域を離れて、それぞれの専門性を高めることができました。



研究農場視察の様子

●【専攻科】環境科学

10月23日(火)に根室管内新規就農者交流会が中標津町で開催され、専攻科学生6人が参加しました。新規就農者が抱える課題を情報共有・意見交換し相互の交流を図ることを目的に行われており、関係者を含めて約60人が参加しての交流会となりました。



事例発表の様子

「私が目指す酪農」というテーマのもと、専攻科2年目学生の松井さんが事例発表を行いました。その後グループ毎に分かれての討議と昼食交流会が行われました。

参加学生はグループ討議において、新規就農者の皆さんや指導農業士の皆さんと自分が今抱えている問題や、改善すべき点について活発に討議を行い、今後の酪農経営に向けた良い刺激と多くのヒントを得ることができ、充実した交流会になりました。

認定こども園中春別保育園で11月24日(土)第46回おゆうぎ会が開催されました。

朝早くから今まで練習してきた我が子の姿を見ようと、家族が保育園に集まりました。始めに、ひよこ組・こどり組による「はじめのことは」があり、各組ごとに歌や楽器、遊戯を披露し、可愛らしい姿を見ている父兄も思わずにっこり笑みがこぼれました。

笑顔満開！ 最高のはれぶたい



中春別保育園
おゆうぎ会



「だ衣装だなく」といった声が聞こえてきました。

園長先生より「おゆうぎ会に向け45人の園児たちが、3週間程前から練習を始め、一所懸命練習を重ねてきました。ご家族の方々の協力があつて今日のおゆうぎ会にいたつています」と挨拶があり、その後は毎年行っているほし組の保護者による出し物に、園児たちは夢中になり見入っていました。

ほし組による言語劇「はだかの王様」が終わると、ほし組から「おわりのことは」があり、中春別保育園おゆうぎ会の幕が閉じました。





生乳課情報

平成30年11月30日現在

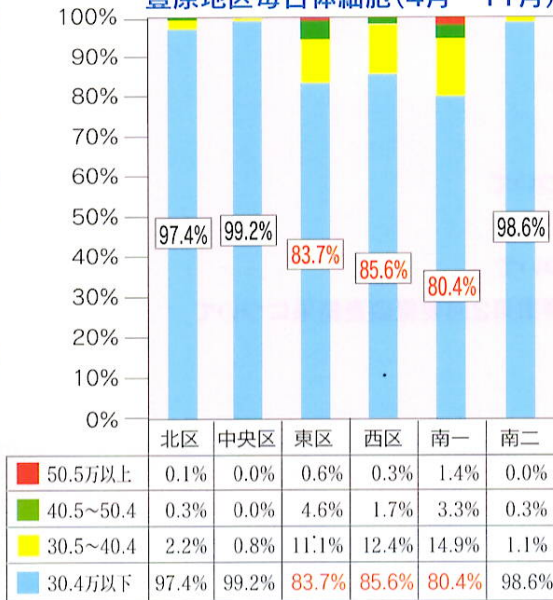
生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 **4**件 管内合計では**10**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**4**件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

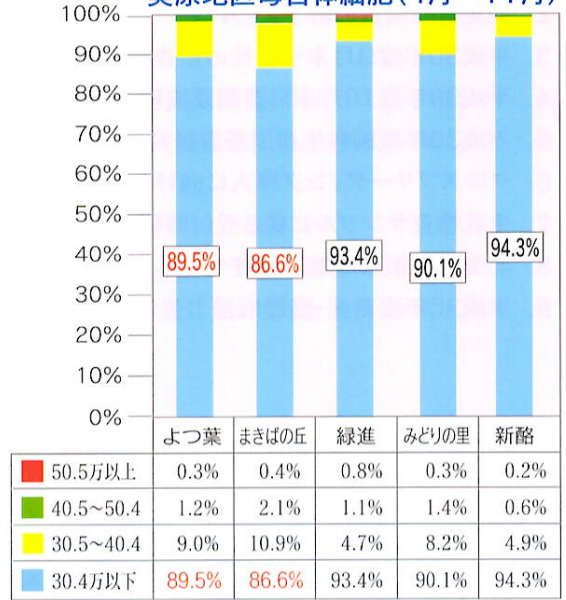
日々の努力とミルクドクターで「安心・安全」の確保！！

良質生乳生産推進委員からの標語

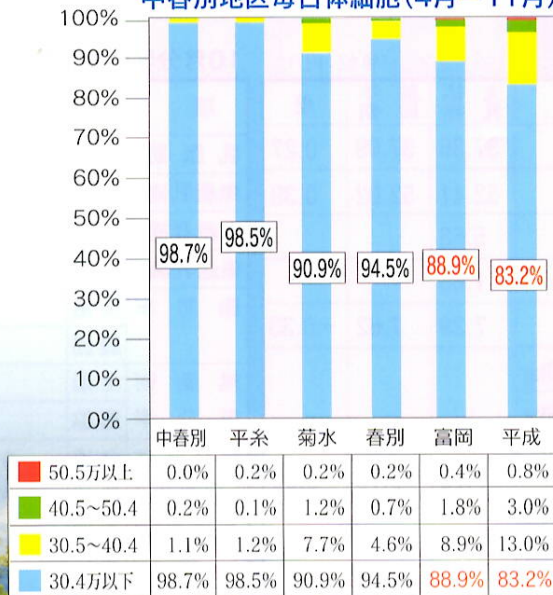
豊原地区毎身体細胞(4月～11月)



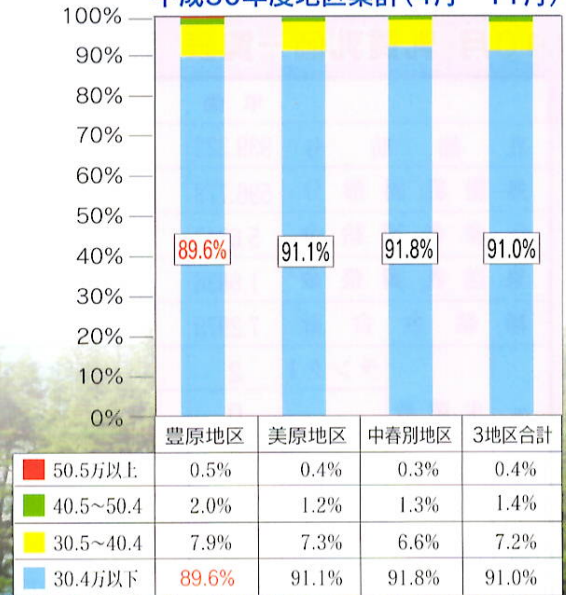
美原地区毎身体細胞(4月～11月)



中春別地区毎身体細胞(4月～11月)



平成30年度地区集計(4月～11月)



議案

1. 年末年始の業務日程について
2. 平成30営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
3. 平成30営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
4. クミカン取引名義変更について
5. 生活クラブ連合援農体験の実施について

報告事項

1. 平成30年度9月末定期監査報告について
2. 固定資産実査の終了について
3. 平成30年度9月末子会社の監査報告について
4. 平成30年度10月末営農関連実績について
5. 平成30年度飼料生産型酪農経営支援事業について
6. クロスブリーディング導入に向けた海外視察研修について
7. 生乳検査サンプルに係る受付時間の変更について
8. 北海道胆振東部地震被害へのホクレン支援対策について
9. 平成30年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業第2回要望調査結果について

10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

10月分乳代支払単価

| | | | 単価 | 算出基礎 | 支乳 払価 | 前 年 期 | 差 | 項 目 | 単価(円)/(kg)% | | | | |
|------------------|---|---|----|---------|----------|-----------------|-------|--------|-------------|-----------------|-----------|-------|--------|
| 乳 | 脂 | 肪 | 分 | 939.322 | | 37.36 | 37.09 | 0.27 | 乳脂肪分① | 37円36銭 | | | |
| 無 | 脂 | 乳 | 固 | 596.778 | | 52.41 | 52.02 | 0.39 | 無脂乳固形分② | 52円41銭 | | | |
| 生 | 産 | 者 | 補 | 5.6343 | | 5.63 | | | 生産者補給金③ | 5円63銭 | | | |
| 集 | 送 | 乳 | 調 | 1.6636 | | 1.66 | | | 集送乳調整金④ | 1円66銭 | | | |
| 補 | 給 | 金 | 合 | 7.2979 | | 7.29 | 7.62 | -0.33 | 脂肪率 | 全道 3.98% | | | |
| 乳 質 単 価 | 生 | 菌 | 数 | ランク1 | 2 | 311,278,759.6kg | 3.73 | 3.73 | 0.00 | 農協 | 4.06% | | |
| | | | | | 0 | 6,406,308.6kg | | | | 無脂固 | 全道 | 8.78% | |
| | | | | | -3 | 128,418.2kg | | | | 形分率 | 農協 | 8.73% | |
| | 体 | 細 | 胞 | 数 | ランク1 | 2 | | | | 275,680,230.5kg | 成分乳価 | 全道 | 97円06銭 |
| | | | | | ランク2 | 1 | | | | 21,589,491.2kg | ①+②+③+④=⑤ | 農協 | 97円59銭 |
| | | | | | ランク3 | -2 | | | | 5,036,429.3kg | 乳質乳価 | 全道 | 3円73銭 |
| | | | | | | | ⑥ | 農協 | 3円77銭 | | | | |
| 乳製品向原料確保奨励金 | | | | | | 0.31 | -0.31 | 乳代合計 | 全道 100円79銭 | | | | |
| 合 | 計 | | | | 100.79 | 100.77 | 0.02 | 農協 | 101円36銭 | | | | |
| | | | | | | | | ⑤+⑥ | 差異 0円57銭 | | | | |

平成30年度 年末・年始の業務日程表

休業

| 日 程 区 分 | 平成30年 | | | 平成31年 | | | | | | | | |
|-------------------|-----------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------|-----|
| | 12/29(土) | 12/30(日) | 12/31(月) | 1/1(火) | 1/2(水) | 1/3(木) | 1/4(金) | 1/5(土) | 1/6(日) | 1/7(月) | | |
| 事務所(除く信用) | 午前中のみ 業務 | | | | | | | | | | 御 用 始 | |
| 事務所信用窓口 | ATM午前中 のみ業務 | | | | | | 平常業務 | ATM午前中 のみ業務 | | | | |
| Aコープ中春別 | 9時30分~15時 営業 | 9時30分~15時 営業 | | | | 9時30分~15時 営業 | | | | | | |
| 給油所 | 平常業務 | 8時~17時 (セルフのみ) | 9時~15時 (給油・配送) | | | 9時~15時 (給油・配送) | 9時~15時 (給油・配送) | 9時~15時 (給油・配送) | 9時~15時 (給油・配送) | 8時~17時 (セルフのみ) | | |
| 倉庫 | 平常営業 | 午前中のみ 営業 | | | | | 平常営業 | 午前中のみ 営業 | | | | |
| 訪問介護事業所 「あさひな」 | 平常業務 | サービス 提供のみ | | | | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | サービス 提供のみ | | |
| 人工授精 | 平常業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | 午前中のみ 業務 | | |
| 生乳 | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 抗生物質 検査のみ | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | | | |
| 街中春別マシセンター | 午前中のみ 営業 | | | | | | 午前中のみ 営業 | 午前中のみ 営業 | | | | 御用始 |

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務(携帯)090-9759-6449 土屋工場長(携帯)080-6086-3273

街ジェイエーワンプ 午前中のみ 営業 御用始

※作業依頼の連絡先 山田専務(携帯)090-8426-6465 方波見課長(携帯)090-8428-8462

| | | | | | | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 藤なかしゅんべつ未来牧場 共和育成センター 全酪連育成センター 酪農研修センター | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 平常業務 | 御用始 |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|

ATMの稼働日について

| 日 程 区 分 | 平成30年 | | | 平成31年 | | | | | | |
|---------------------|-------------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|--------|
| | 12/29(土) | 12/30(日) | 12/31(月) | 1/1(火) | 1/2(水) | 1/3(木) | 1/4(金) | 1/5(土) | 1/6(日) | 1/7(月) |
| 当JA ATM | 午前中のみ 稼働 | | | | | | 平常稼働 | 午前中のみ 稼働 | | 平常稼働 |
| ゆうちょATM | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | | | | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 |
| コンビニATM (セブン銀行等) | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 | 平常稼働 |

- ◎販売関連業務 (1)初生トク集荷
年内最終集荷12月28日
年明け集荷1月4日
(2)ホクレン市場
最終開催日12月26日(初生のみ)
年明け開催日1月9日

- ◎牧場関連業務 哺育・育成集荷
年内最終集荷12月29日
年明け集荷1月5日

- ◎人工授精業務
午前中のみ業務、午後から休業

◎緊急時の連絡先

- (1)停電……………北電 0120-060-674
- (2)除雪(生乳集荷路線)……………平間課長宅0153-86-2130
- (3)給油……………田中係長080-6090-2923(緊急携帯)
- (4)飼料等配送……………別海貨物(中原部長)090-3398-3646
- (5)生乳検査……………平間課長宅0153-86-2130(緊急携帯)090-2076-4014
- (6)夜間バルク抗生物質検査……………(緊急携帯)090-2076-4014
- (7)FAX故障……………目黒担当090-1643-2915
- (8)その他……………山形課長宅70-4009、登部長宅75-0517

JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

- ◎休業 12月31日(12月31日~1月4日朝の業務)
- ◎業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始
- ◎緊急ヘルパー受付
※農協休業日
水谷営農振興課長 携帯電話080-5593-5318



12月31日につく「除夜の鐘」

除夜には、除日の夜という意味があり、除日の「除」は、古いものを捨て去り新しいものを迎えることから、大晦日から元旦の夜にまたがり、つかれる寺院の鐘の音のことを「除夜の鐘」と言います。

鐘をつく行為は、鎌倉時代から始まったそうで、煩惱を除夜の鐘を打つことで、ひとつ一つ消していくということで、108の煩惱は…

- 1.世の中には苦しみの原因になる事柄が98個
- 2.その原因を受け取る心が10個、これで108ということになります。

嫉妬や憎しみ、苦しみの原因が、人には必ず持っているものなのでこれを打ち消し、来年こそはいい年にするということで、108回鐘を突き始めたそうです。

四苦八苦が由来となり四苦は4×9、八苦は8×9がそれぞれ36と72になって、足すことで108になるからという説もあります。

なお、お寺の中には107回までを旧年に鳴らし、108回目を新年に鳴らすところや、そもそも鐘を鳴らすのは108回ではなくそれ以上多く鳴らすお寺もあるようです。

編集後記

今年も残りわずかとなりましたが、組合員皆様におかれましては、新しい年に向けて何かとお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

これから寒さが一層厳しくなり、熱燗が恋しくなる時期になりました(私はまだ未成年ですが)。忘年会などお酒を飲む機会が増えると思いますが、「飲んだら乗るな!」を遵守し車は絶対運転しないで、楽しいお酒を飲んでください。

さて、私も7月に配属され、組合だより「なかしゅんべつ」を9月号より担当することになり、本号で4号目の発行となりました。号数を重ねる毎に書くこと、表現力の難しさを痛感、また、写真を撮る際の切り取り方、状況に応じたモードの設定に日々悩み、教えていただいたりと毎日が勉強中です。

これからも地域の話題をふんだんに取り入れながら、楽しんで読んでいただける紙面づくりに尽力してまいりますので、取材の際にはご協力の程よろしくお願いいたします。また、組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しておりますので営農振興課・久末までご連絡ください。

残りわずかになりましたが、体調をくずされ風邪などひかないよう気をつけてください。皆様にとつてより良い年になるようお祈りいたします。

第37回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

| 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 |
|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | |

第37回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

| 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 |
|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | |

第37回 ホルスタイン写真コンテスト応募用紙

住 所： _____

氏 名： _____

| 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 |
|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | |

